

令和6年度
事業報告書
—第4期—

自 令和6年4月 1日
至 令和7年3月31日

社会福祉法人 絆敬会
滋賀県甲賀市水口町秋葉45番地1

1. 状況報告

(1) 法人概要

法人名 : 社会福祉法人絆敬会
社会福祉法人設立認可日 : 令和3年11月16日 甲福医第266号
設立登記年月日 : 令和3年11月29日
代表者名 : 理事長 田中俊之
法人所在地 : 滋賀県甲賀市水口町秋葉45番地1

(2) 法人事業

事業種別 : 幼保連携型認定こども園
事業所名 : ここのっす園
代表者 : 菊田 津多江
定員 : 246名
事業開始日 : 令和4年4月1日

(3) 定款変更状況

令和6年5月1日に変更(第15条第3項・第28条第2項)

(4) 役員状況および役員名簿

理事総数7名 監事2名

任期: 令和5年8月27日~令和7年に開催する令和6年度のものに関する定時評議員会終結時まで

理事長	田中俊之	理事	大田垣敏信	理事	小川敬之
理事	岩倉浩司	理事	楠神 涉	理事	橋本善信
理事	菊田津多江				
監事	西野 博	監事	塚本和也		

評議員8名

任期: 令和3年11月26日~令和7年に開催する令和6年度のものに関する定時評議員会終結時まで

評議員	田中真純	評議員	森口 茂	評議員	増田信之
評議員	深井伸吾	評議員	佐藤 稔	評議員	南 征吾
評議員	黒田 隆	評議員	佐治聡美		

(5) 資産の状況

滋賀県甲賀市水口町秋葉45番地1 所在の鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建
ここのっす園園舎 一棟(1540.06㎡)
運用資産 なし

2. 法人本部

(1) 事業報告概要(総括)

開園3年目となる令和6年度は、4月より新たに園長および副園長を迎えるとともに、経験豊富な保育士を採用することで職員体制の再構築を行い、保育・教育の質の向上を図りながら、子どもたちが安心して通える園づくりに取り組んできた。

保育環境については、これまで懸案となっていた施設の安全対策として、階段への転落防止柵や図書コーナーへの落下防止用間仕切りの設置、テラスへの日よけ用オーニングの設置、園舎外部の屋根への雨樋の新設など、安全性と快適性の向上を図った。

園庭整備については、これまで遊具が少ないとの保護者からの意見を受け、令和7年度の整備に向けて着手した。保育士が中心となり、園児の視点に立った案を検討し、複数の事業者からの提案を受けて業者を決定するプロポーザルを実施。保護者代表を含む選定委員会による審査を経て、改修業者を決定した。

また、一般財団法人第一生命財団の「子どもの未来を応援する保育所助成事業」の助成を受け、安田式ミニジャングリングおよびテクノマン低鉄棒セットを購入し、園庭に設置した。これにより子どもたちの遊びの幅が広がり、より魅力的で夢中になって遊べる園庭となった。



地域連携・地域貢献事業については、未就園児との交流を目的とした「子育てサロン」の実施、まちづくり協議会との交流、さらに甲賀市の学習支援事業を受託し、園舎を活用した子どもの居場所づくりを進めてきた。この活動には、地域や保護者から食材やお菓子の提供を受け、温かい支援のもとで実施することができた。

他法人との連携では、市内の社会福祉法人や福祉関連団体と連携し、高齢・障がい・児童といった分野を超えて地域課題・福祉課題を共有し、職員研修などを通じた人材育成を行い、地域社会への貢献にも努めてきた。

法人運営においては、役員協議会を毎月開催し、理事・監事との情報共有や迅速な意思決定が可能な体制を維持している。経営面では、職員体制の充実により、年度当初から安定した園児の受け入れが可能となり、年間を通じた給付費の増加にもつながった。

以上の取り組みにより、体制の強化と環境改善の両面において、着実な前進を遂げた1年であった。今後も引き続き、地域から信頼される園運営を目指していく。



(2) 理事会開催状況

開催数 開催年月日	出席者数／定数 出席者名	欠席者名	出席監事 名	議 題
第1回 令和6年4月9日	5／7 楠神 渉 大田垣 敏信 岩倉 浩司 田中 俊之 菊田 津多江	小川 敬之 橋本 善信	西野 博 塚本 和也	・マイカー業務使用規程承認の件 ・社会福祉法人絆敬会役員等の賠償責任補償承認の件
第2回 令和6年6月4日	7／7 楠神 渉 小川 敬之 大田垣 敏信 岩倉 浩司 橋本 善信 田中 俊之 菊田 津多江	無	西野 博 塚本 和也	・令和5年度事業報告書承認の件 ・令和5年度計算書類および財産目録承認の件 ・社会福祉充実残額（余裕財産）の件 ・理事、監事及び評議員、評議員選任・解任委員会の報酬等の額承認の件 ・認可定員内訳変更承認の件 ・定時評議員会の開催の件
第3回 令和6年8月13日	6人／7人 楠神 渉 小川 敬之 大田垣 敏信 岩倉 浩司 田中 俊之 菊田 津多江	橋本 善信	塚本 和也	・防災管理規程承認の件 ・職場におけるハラスメントの防止に関する規程承認の件 ・個人情報取扱規程承認の件 ・特定個人情報保護規程承認の件
第4回 令和6年9月10日	5人／7人 小川 敬之 大田垣 敏信 橋本 善信 田中 俊之 菊田 津多江	楠神 渉 岩倉 浩司	西野 博 塚本 和也	・オーニング（日よけ）設置工事承認の件 ・ビックパッドリース料金請求の件

<p>第5回 令和6年11月12日</p>	<p>5人／7人 楠神 涉 大田垣 敏信 岩倉 浩司 田中 俊之 菊田 津多江</p>	<p>小川 敬之 橋本 善信</p>	<p>西野 博 塚本 和也</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員選任・解任委員会委員の選任承認の件 ・園庭整備に関するプロポーザル発注承認の件
<p>第6回 令和6年12月10日</p>	<p>7人／7人 楠神 涉 小川 敬之 大田垣 敏信 岩倉 浩司 橋本 善信 田中 俊之 菊田 津多江</p>	<p>無</p>	<p>西野 博</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度資金収支予算書補正予算承認の件
<p>第7回 令和7年3月11日</p>	<p>6人／7人 楠神 涉 小川 敬之 大田垣 敏信 岩倉 浩司 田中 俊之 菊田 津多江</p>	<p>橋本 善信</p>	<p>西野 博 塚本 和也</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定款変更承認の件 ・評議員選任・解任委員会運営細則変更承認の件 ・運営規程変更承認の件 ・衛生管理規程承認の件 ・就業規則及び給与規程変更承認の件 ・令和7年度事業計画承認の件 ・令和7年度資金収支予算書承認の件 ・令和7年度役員及び評議員等に対する報酬支給総額承認の件 ・第9回評議員会開催日時

(3) 評議員会開催状況

開催数 開催年月日	出席者数／定数 出席者名	欠席者名	出席監事名	議 題
定時 令和6年6月26日	6人／8人 佐藤 稔 増田 信之 森口 茂 南 征吾 黒田 隆 佐治 聡美	深井 伸吾 田中 真純	西野 博	・令和5年度計算書類および財産目録承認の件 ・令和5年度社会福祉充実残額（余裕財産）の件 ・理事、監事および評議員、評議員選任・解任委員会の報酬等の額承認の件
第9回 令和7年3月28日	6人／8人 深井 伸吾 佐藤 稔 増田 信之 森口 茂 南 征吾 佐治 聡美	田中 真純 黒田 隆	塚本 和也	・定款変更承認の件 ・令和7年度役員及び評議員等に対する報酬支給総額承認の件

(4) 評議員選任・解任委員会開催状況

開催なし

(5) 第三者委員会開催状況

開催なし

(6) 地域貢献事業

未就園児交流を目的に「子育てサロン」を毎月第3週水曜日に実施した。毎月10組程度参加され、親子でふれあったり、リフレッシュしたり、子育ての悩み相談や交流の場となった。

(7) 学習支援事業「学んでいコウカ」

生活困窮家庭または、そのおそれのある家庭の子どもを対象に、学習支援に加えて、ボランティアや子ども同士の交流の場としての居場所を提供することを目的に、学習支援事業「学んでいコウカ」水口木曜教室を実施した。9月の開講式を皮切りに、毎週木曜日の17時30分から20時まで開催し、小学生から高校生までの子どもたちが参加した。園の保育士や地域のボランティ



アの支えにより、夕食の提供や、学習・遊びを通じた子どもたち同士の交流を図ることができた。

また、この事業には地域の方々や保護者、フードバンク等から、お米や野菜、お菓子などの温かいご支援をいただいた。さらに、美容師をされている保護者の方には、子どもの散髪をしていただくなど、さまざまなかたちでのご協力をいただいた。

開催回数 24回

子ども参加人数 延べ 87人

ボランティア 延べ117人



(8) 法人連携事業「KOKA Synergy Link」

市内で活動する社会福祉法人や福祉関連団体が、高齢、障がい、児童といった分野の枠を超えてつながり、地域課題や福祉課題を共有し合うとともに、「できることからやってみる」を合言葉に令和6年3月に設立した。共通テーマは「共に生きる」。

会議回数 11回（会場は各法人持ち回り）

研修会等 6回

（7月市内法人若手職員向け研修・11月市内法人研修・法人施設見学ツアー・12月年末炊き出しイベント・2月地域共生社会研修・2月社会福祉学会発表）



3. 事業所：ここのつす園

(1) 事業報告概要

保育理念

- ・一人ひとりを大切にする保育
- ・思いやりのこころを育む保育
- ・主体性を育む保育
- ・感動と共感のある保育
- ・共に学びあう保育

保育目標

- ・基本的な生活習慣を身につけ、集団の中で一人ひとりの個性を育みます。
- ・豊かな心と健やかな体や人と関わる力を培います。
- ・地域との連携を大切にし、生きる力を育みます。

保育方針

- ・子どもが心地よく過ごせる環境づくりに努める。
- ・一人ひとりの子どもを大切に職員の共通理解のもと保育を行う。
- ・保護者の思いを受け止め、理解と協力を得ながら子育て支援を行う。

(2) 実施状況

保育の取組み

・未満児保育への取組み

保育士との愛着関係を大事に、育児担当制を実施し、一人ひとりの生活リズムを大事に安心して過ごせるよう保育環境を整えた。好きな遊びや探索活動をじっくりと楽しみ、主体的に遊べるよう、保育者に気持ちや思いを表現し、保育者との信頼関係を深めていけるよう全職員対象に研修を実施した。

・以上児保育

『心わくわく、自ら考え夢中になって遊ぶ子ども』をテーマにし、保育の充実と地域とのかかわりを密に、城山への散歩や、園庭での遊ぶ環境を整えた。各保育室においても主体的に遊べるようコーナーを設け、主体性を伸ばす保育を行った。

・特別な配慮を必要とする園児への保育

手すりの設置や座位の安定する椅子の使用等、環境の整備が必要であったため、児童発達支援センターから心理士、作業療法士、言語聴覚士等専門職の助言をいただいた。保護者にも寄り添い、発達過程での困りごとの相談を受け、外部との連携により発達の特性に合わせた支援を行った。

来園回数	児童発達支援センター	つみき	11回
	内 心理士	8回	作業療法士 4回 言語聴覚士 3回

・食育について

毎月給食会議を行うことで、子どもたちが食べやすく、見た目からも楽しめる献立を提供することができた。子どもたちが畑で育てた野菜を調理してもらったり、子どもたちが地元商店へ買い物に行き、クッキングをしたり、食材を自分たちで調達し調理する流れを一貫して行うことができた。おいしいと感じることを大事に食育活動に



取り組むことができた。保護者にも試食会に参加していただくとともに保護者対象に食育研修会を実施し、次年度も子どもたちが食材を通じて、食に触れるようにしていきたい。

・健康管理について

毎月の身体計測の実施をする。ほけんだよりの発行を行い、家庭との連携を図った。感染症が園内に出た際は、保育支援アプリ (ICT) を使用し最新の感染情報を保護者に提供するとともに、欠席状況を玄関入り口に掲示し、健康管理を呼び掛けた。また、看護職員による嘔吐研修を全職員対象に実施し、嘔吐処理の共通理解に努め感染拡大防止につながった。嘔吐処理するとともに、虫歯予防教室を親子で行い、歯磨きの大切さを感じることができた。子どもたちが話を聞くだけでなく、楽しみながら健康に興味を持てる体験ができた。



・防災について

毎月防災訓練、不審者対応訓練をおこない、南海トラフ地震を想定して11月には保護者にも引き渡し訓練に参加していただき、実際に災害が起こった際にどのように子どもの引き渡しを行うか確認を行った。

地震等の災害に備え、未満児分、以上児分と種類を分けて備蓄品の購入も行った。

・怪我・病気への対応

事故発生直後に看護職員並びに、園長に報告し、適切な対応を実施した。怪我の状況を保護者に連絡し、状況に応じて病院受診を行うとともに、園の職員が病院に同行した。怪我のケースを含め、ヒヤリハット案件を所定の様式に記入し、状況を振り返り、今後同じことを繰り返さないために、職員会議や昼礼、職員伝達ノートで情報共有する機会とした。命の重みや怪我の対応を丁寧に行うように職員全員が意識をもって取り組んだ。

・園庭整備について

園児の心身の発達を促す環境整備の一環として、令和7年度に向けた園庭改修計画を進めている。この計画では、保育士が中心となり、園児の視点に立った案を検討したうえで、複数の事業者からの提案を受けるプロポーザルを実施した。選定にあたっては、保護者代表を含む選定委員会を設置し、慎重な審査を経て改修業者を決定



するとともに、園内廊下にイメージ図を掲示することで保護者へ周知を行った。今後の整備により、すべての子どもたちが安全に、そして多様な遊びを通じて健やかに成長できる園庭づくりが期待されている。

・保育環境について

保育環境整備においては、園舎2階の階段には転落防止柵を取り付け、図書コーナーには落下防止柵を設置した。また、園舎1階の職員室では柱等の撤去工事を行い、乳児室には新たに建具を取り付けた。さらに、1階テラスには日除け用のオーニングを設置し、園舎外部の屋根には雨樋を新設した。そのほか、園の入口門扉のスライド鍵の交換を、駐車場出入口には新たな看板の作成・設置を行った。これらの取り組みにより、これまで懸案であった施設面における安心安全な保育環境の整備に努めた。



・業務について

業務負荷がかかっていた保育帳簿を精査し、保育支援アプリ(ICT)での作業時間の確保に取り組み、作業の効率化ができてきている。タブレットやiPadを用いて、SNSにアップするにあたって職員の研修を実施し、保育教諭が使い慣れている機器を用いて保育の情報発信ができています。

また、ネットワークを通してハードディスクにデータを保存するNASシステムを導入したことから、データ共有が容易となり業務の効率化が図れた。

・保護者との情報交換について

日々の対話に加え、保育支援アプリ(ICT)の活用や、園舎内のモニターによる当日の様子の写真上映などを行っている。保護者からの相談や要望には迅速に対応するよう努めており、入園時説明会や個別面談、各種行事の機会を通じて積極的なコミュニケーションを図っている。

保護者会は組織していないが、保護者の協力が必要な場合には、有志による「このっす応援隊」を募り、無理のない範囲で協力をお願いしている。これは、就労して

いる保護者の負担を考慮し、自主性を尊重した取り組みとしている。

・情報発信について

毎月発行している園だよりを保護者に配信するほか、地域のまちづくり協議会や子育て支援センターにも配布している。また、ホームページをはじめ、SNS（インスタグラム）を活用して、子どもたちの日々の様子や給食などを発信するとともに、地元ケーブルテレビ「あいコムこうか」などの報道機関にも積極的に情報提供を行った。

NHK 大津局	クッキング(5歳児)、焼きいも、サンタ列車(5歳児)
びわこ放送	オウミ DE ダンス
あいコムこうか	鯉のぼり、焼きいも、 カワセミ君のお悩み相談室(5歳児)

・ワークライフバランスへの取り組み

質の良い保育サービスを提供するため、「チームここのっす」で実現するためや一人一人の職員が充実した仕事と私生活を実現できるよう、休暇制度の改正や子連れ出勤の実施など、居心地よく働き続けられる職場環境を目指した。

子連れ出勤利用職員



利用数	12家族(園内で就学児、未就学児がいる家庭数:23家族)
-----	------------------------------

・地域との取り組み

地域とのかかわりを深めることも子どもたちの豊かな心を育てるために必要なことのひとつと認識し、積極的に地域の方とのかかわりを持つようにした。「いわがみつなりの日」には子どもたちの作品を展示させていただき、地域の方にここのっす園の子どもたちの愛らしい作品を見てもらうことができた。また、岩上地域まちづくり協議会の協力を得て、子どもたちとサツマイモを収穫し、園庭でもみ殻を使った焼きいもを体験することができた。地域に見守られる園として、地域の方の協力のもと子どもたちの感性を育むことができた。



また、水口まちづくり協議会から花いっぱい運動に花苗をいただき、子どもたちが植えたプランターで、玄関に彩りがみられている。

・園外研修の取り組み

保育の質の向上と自己啓発を兼ねて自主的に保育教諭が行きたい研修に参加できるように調整をし、研修に多くの保育教諭が受講できた。また、キャリアアップ研修

に計画的に参加したことで処遇改善につながった。

園外研修

参加 40回 延べ64人

キャリアアップ

参加 16人 延べ37項目

・園内研修

外部講師による食育研修や、嘔吐研修や乳幼児研修、人権研修など、計画的に実施し園内の職員のスキルアップにつながった。

園内研修

題 材	参加人数	備 考
不適切保育について	14人	
自分のタイプを知ろう	全職員	占いサイト利用
嘔吐研修	17人	R7年も継続中
防犯訓練について	14人	動画利用
接遇研修	7人	動画利用
人権研修「互いの認め合い」	全職員	
食育「子どもの食について」	14人	講師:田中美智子さん

・諸会議の実施

保育環境プロジェクト、地域貢献プロジェクト、情報発信プロジェクトの3つの取り組みを新たに設け、職員全員がいずれかのプロジェクトに所属し、法人としての在り方や保育の内容について検討を進めてきた。

(3) 年間行事

- 4月 入園式
- 5月 こどもの日の集い 4・5歳児個別懇談
- 6月 リトミック 2・3歳児個別懇談 カレークッキング
- 7月 水遊び サッカー教室 0・1歳児個別懇談 親子ふれあい遊び
- 8月 水遊び
- 9月 リトミック 親子リトミック
- 10月 運動会 バス遠足 リトミック 岩上つながりの日 森の教室
- 11月 起震車体験 芋ほり 焼き芋
- 12月 サンタ列車 クラス懇談 クリスマス会 発表会
- 1月 キッズサッカー
- 2月 節分 おうみDEダンス 4歳クッキング おいもパーティー
- 3月 ひなまつり 卒園式

(4) 概況報告

①施設の概要

施設の所在地 甲賀市水口町秋葉45番地1
 施設長氏名 園長 菊田 津多江(令和6年4月1日就任)
 開園年月日 令和4年4月1日
 定員 246名

②入所に関する事項

年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
R4年度末	13	19	37	81	36	17	203
R5年度末	14	17	30	37	59	33	190
R6年度末	12	29	28	60	33	59	221

③途中入退園児に関する事項

年齢	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		計	
	入園	退園	入園	退園										
R4年度末	7	1	4	2	7	1	4	10	1	4	2	13	25	31
R5年度末	13	0	0	0	7	4	4	0	3	2	2	1	29	7
R6年度末	8	0	3	2	5	2	0	0	0	0	5	2	21	6

④職員に関する事項

	園長	副園長	主任	副主任	保育士			看護師		事務		支援員	用務員	合計	常勤換算	
	正規	正規	正規	非常勤	正規	常並非	非常勤	正規	非常勤	正規	非常勤	非常勤	非常勤			
R4年度当初	1	1	2	2	0	18	4	14	1	1	1	1	0	2	48	37.7
R4年度末	1	1	1	0	1	10	6	15	1	1	1	2	8	2	49	38.8
R5年度当初	1	1	1	1	0	13	6	11	1	2	3	0	8	2	50	41.6
R5年度末	1	0	1	1	0	11	5	15	0	1	3	0	8	1	47	38.2
R6年度当初	1	1	1	1	0	12	1	24	0	1	3	0	0	1	46	37.1
R6年度末	1	1	1	0	0	12	1	26	0	2	3	0	3	1	51	40.0

⑤採用・離職に関する事項

	新規採用		途中採用		退職		年度末職員		離職率(%)	
	正規	非常勤	正規	非常勤	正規	非常勤	正規	非常勤	正規	非常勤
R4年度	22	21	6	8	13	8	16	33	44.8	19.5
R5年度	4	1	1	8	8	18	17	30	32.0	37.5
R6年度	5	7	0	9	3	3	18	33	14.2	8.3

⑥有給取得率

有給取得数/当該年度発生有給数

	正規職員	非常勤職員	職員全体
R4年度	35.0%	43.7%	40.4%
R5年度	75.0%	76.8%	76.0%
R6年度	47.2%	70.0%	59.3%

⑦職員平均年齢 平均勤続年数(正規職員)

R4年度	35.6歳	1年
R5年度	38.7歳	1.58年
R6年度	43.3歳	1.69年